



〔秋田市観光クチコミ大使〕
東北電力ネットワーク株式会社
監査役

く どう かず のり
工 藤 和 典 氏

秋田への思い

皆さん、こんにちは。東北電力ネットワーク株式会社の工藤と申します。

東北電力ネットワーク？皆さんの中には東北電力？と思われた方もいらっしゃるかもしれません。

当社は、2020年4月、東北電力の分社化に伴い発足した会社です。分社化前までは、東北電力が電気の発電、送配電、販売を一手に担っていましたが、分社化後は東北電力ネットワーク株式会社が送配電事業を承継しました。言い換えると、当社は、東北6県と新潟県で送電線や配電線、変電所といった設備を建設、保守管理、運用し、停電時は復旧作業を担っている会社ということになります。

さて、電力の自由化に伴い電気を利用する皆さんは、自由に電力会社を選べるようになりました。皆さんの中にも東北電力以外の事業者と電気の契約をされている方もいらっしゃるのではないかと思います。一方、電気を皆さんのご家庭あるいは事業所にお届けするには設備が必要です。将来、雷のように空中を飛ばして電気を届けるといった時代が来るかもしれませんが、現在では電気を送る設備が必要です。それが、送電線、変電所、配電線といったネットワーク設備です。このネットワーク設備ですが、それぞれの電気事業者が所有するとなると非効率です。例えば、高速道路を思い浮かべてください。皆さんが宅急便で秋田市から湯沢市まで高速道路を利用して発送すると仮定します。宅配会社で利用できる会社はいくつもありますが、それぞれの会社が高速道路を建設し維持していくのは非効率だし、料金も高止まりすることになります。そこで高速道路の維持運用、管理は、各高速道路株式会社が実施し、各宅配会社は自由に高速道路を利用できるように

なっています。電気の場合も全く一緒に、電気を送る送電線、変電所、配電線等については当社が維持運用、管理し、皆さまの所に電気をお届けしております。よって、台風、雪害等で停電が発生した場合は、ネットワーク設備を管理している当社に連絡をお願いいたします。なお、停電情報通知アプリもリリースしておりますのでこちらもご利用ください。

何やら当社のPRばかりになってしまいました。秋田市観光クチコミ大使としての役目を果たしていないとお叱りを受けそうです。

ところで、秋田市出身の私ですが、縁があって2016年から2019年までの3年間秋田市で勤務しました。秋田市に対する思いは人一倍強いと自負しておりますので、次回、寄稿させていただく機会を頂戴できたら、思いの丈をぶちまけたいと思います。

先日、秋田県の2020年の人口が96万人というニュースを見ました。少子高齢化の波はなかなか抑えられそうありませんが、少子高齢化が一番進んでいる秋田県だからこそできることがあるのではないかと密かに期待しています。また、新型コロナウイルスも猛威をふるっており、今後も厳しい状況が続くと思われませんが、春の来ない冬はないと申します。秋田の皆さんが、これらの難局を乗り切っていくことを切に希望しております。

■略歴

- 1960年 秋田県秋田市生まれ
- 1983年 東北電力株式会社 入社
- 2016年 同社 執行役員秋田支店長
- 2020年 東北電力ネットワーク株式会社 監査役
- 現在に至る